

生徒心得

- 吉根中学校生徒である自覚と誇りを持って行動しよう。
- 本校の校訓である「自主・自律・自学」のもと、状況に応じて、自ら考え判断し、責任ある行動をとることができるようにしよう。
- 吉根中の生徒全員が気持ちよく一日を過ごせるように、礼儀正しく、思いやりをもって行動しよう。

< 学校生活のきまり >

- ① 8時25分までに教室に入らなければ遅刻となります。
- ② 遅刻・早退・欠席のときは、事前に保護者の方に学校に連絡をしてもらうこと。
- ③ 学習に必要な物、不必要なお金は持ってきません。
- ④ 下校時刻を守りましょう。

下校時刻表（完全下校時刻）

月	4月～9月	10月	11～1月	2・3月
時間	18:00	17:30	17:15	17:30

服 装 規 定

1 制服

(1) 令和5年度以前の制服（令和7年度まで着用できる。）

	男子	女子
冬服	①② 標準学生服上下に吉根中学校オリジナルボタン（袖ボタンは無し） ③ 白色カッターシャツ・白色ニットシャツを着用	① 紺色ジャケット ※菅公学生服製 ② 白色半袖・長袖セーラーブラウスカ、白色カッターシャツを着用 ※菅公学生服製 ③ 紺色スカート（車ひだ） ※菅公学生服製 ④ スラックス
合服	① 白色カッターシャツ ② 標準学生ズボン	① 白色半袖・長袖セーラーブラウスカ白色カッターシャツ ② 紺色スカート（車ひだ） スラックス
夏服	① 白色ニットシャツ ※トンボメイト製 ② 標準学生ズボン	① 白色半袖セーラーブラウスカ白色ニットシャツ※トンボメイト製 ② 紺色スカート（車ひだ） ③ スラックス

※ 令和8年度より、ブレザータイプへ完全移行する。

※ カッターシャツ、ニットシャツの代わりに、オール白色の長袖・半袖のポロシャツを着用してもよい。その際は、次のページの(2)の着用のしかたに準ずることとする。

※ 制服の移行期間は設定しないため、気候に応じて、各自で考えて、夏服・合服・冬服を着用する。

(2) 令和6年度以降の制服（令和8年度より完全移行とする。）

ブレザー	<ul style="list-style-type: none">・式日や行事など、学校から指定された場合はブレザーを着用する。・ブレザーの前合わせは、各自の自由とする。・ブレザーのボタンは、上の一つ、もしくは二つとも留める。
長袖 ポロシャツ	<ul style="list-style-type: none">・オール白のポロシャツを着用する。・名札をつけるためのポケットがありが好ましい。・ブレザーを着用しない場合は、名札はポロシャツに付ける。・ブレザー着用の場合は、ポロシャツの裾はボトムに入れる。・シャツのインナーは、ベースカラーで無地のものとし、ハイネック等は不可とする。
半袖 ポロシャツ	<ul style="list-style-type: none">・オール白のポロシャツを着用する。・ボタンはすべて留める。・名札はポケットにつける。・ポロシャツの裾は出してもよい。・シャツのインナーは、ベースカラーで無地のものとし、ハイネック等は不可とする。
ボトム	<ul style="list-style-type: none">・ボトムは、スラックス・スカートから選択する。・スラックスの裾は引きずらない長さとし、裾はシングル・ダブルのどちらでもよい。・スカートの丈は膝が隠れる長さとする。・ベルトは、黒・紺とし、スラックスはベルトを着用する。スカートはベルトを着用してもよい。

※ 夏季期間について

- ・ 夏季期間は、熱中症対策のため、体操服・ジャージ・ハーフパンツでの登校・生活してもよいこととする。期間については連絡をする。
- ・ 式日や行事など、学校から指定された場合は、制服を着用する。

2 体操着

ジャージ・体操服・ハーフパンツ

ジャージ・体操服・ハーフパンツは、紺色のジャージに藤色のライン、ジャージの上衣と体操服（白色 T シャツ）の左胸に吉根中学校の「K」をデザインしたマークが入る。マークの下には個人名の刺しゅうが、マークと同系色の色で入る。

3 その他

※ 服装について、色の指定のあるものについては、白・黒・紺・茶・グレー・ベージュを吉根中の服装等に関するベースカラー（基本色）として設定し、生徒はその場に応じたものを考えて、着用するようにすること。

くつ	<ul style="list-style-type: none">靴の色は、ベースカラーを基調として無地（柄のないもの）の運動靴とする。メーカー名などのワンポイントやラインの色については問わない。ひもやマジックテープなどで調整ができるタイプを着用する。ハイカットや厚底は不可とする。雨天時などに、レインシューズを履いてもよい。色はベースカラーとし、自分の下駄箱に入れる。
くつ下	<ul style="list-style-type: none">靴下の色は、ベースカラーとし、くるぶしが完全に隠れ、膝下までの長さのものを着用する。ワンポイントやラインは可とし、無地で柄のないものとする。
上履き	<ul style="list-style-type: none">学校指定のスリッパを着用する。
通学用かばん	<ul style="list-style-type: none">両肩で背負うタイプのかばんとする。（リュックサック・デイバッグ）色は、黒・紺・茶を基調とする。荷物が多い場合は、サブバッグを使用してもよい。
体育の服装	<ul style="list-style-type: none">学校指定の体操服、ハーフパンツ、ジャージ
体育館シューズ	<ul style="list-style-type: none">学校指定のシューズを着用する。
<p>※ 男女ともに夏服・カッターシャツ・ブラウスの中に着るシャツの色は、ベースカラーとする。</p> <p>※ アクセサリーなどの装飾品はつけない。</p> <p>※ 化粧（アイプチ・カラーコンタクト・エクステ等も含む）はしない。</p> <p>※ ウェットティッシュや汗拭きシートは、無香料のものは使用してもよいが、ゴミは各自で持ち帰ること。スプレータイプは不可。</p>	

4 防寒具 (R5.10.24 改訂)

- ・ 防寒具は、気候に応じて各自で判断し着用してもよい。
 - ・ 自分のロッカーにしまうこと。
- ★ 防寒具の着脱場所について、建物に入る前に脱ぐことが一般的なマナーであるが、土間の混雑や落とし物の防止のため、教室で着脱を可とする。

マフラー・スヌード ネックウォーマー	・ 色柄の指定はなし。
手袋	・ 色柄の指定はなし。
コート類	・ 種類は、Pコート、ダッフルコートなどのコート類、またはウィンドブレーカー、ダウンジャケットなどとし、色は、ベースカラーを基調とする。 ・ 部活動でそろえて購入しているウィンドブレーカーの使用も可とする。
インナーとしての防寒具	・ 学生服、ジャケットの下に、ベスト・セーター等を着用してもよい。 ・ 色は、ベースカラーとし、柄のないものとする。 ・ ワンポイントやラインは可とする。 ・ ベスト、セーター等が一番上になる形での着用は不可とする。
タイツ・レギンス	・ 黒色のタイツ・レギンスを着用してもよい。 ・ 体育の授業の時は脱ぎ、靴下を着用すること。

※ 耳当ては、周りの音が聞こえなくなるなどの危険性があるため、使用しません。

頭 髪 規 定

頭髪については、以下の点に留意しながら、各自で判断すること。

- ・ 学業に支障が出ないこと。
- ・ 他人に迷惑をかけないこと。
- ・ 他人に威圧感を与えないこと。
- ・ オシャレを目的としないこと。

<具体的な例>

- ・ 長い髪（肩につく程度）は、安全を考慮して、必要に応じてしばりましょう。（ 体育の授業、理科の実験、技術家庭科の実習 など ）
- ・ 左右非対称の髪型にしたり、編み込み（一般的な三つ編みは除く）をしたり、ラインを入れたりするのはやめましょう。
- ・ 整髪料は使用しません。
- ・ パーマはしません。（縮毛矯正は除きます。）
- ・ 変色・脱色はしません。
- ・ 髪飾りは使用しません。
- ・ ゴムバンド・ヘアピンを使用する場合は、ベースカラーのものを使用し、必要に応じてしばれるように常備しておきましょう。
- ・ 登校後に、時間をかけて髪型を直さないようにしましょう。